シンガポール落つ[[1]](#footnote-1)

香山光郎

「シンガポール落つ。」

夜の十時三十分。

「大本営発表。シンガポールは落ちたり」

と、ラヂオは叫べり。

「午後七時五十分

英軍無條件降伏。

ブキテマ陣地にて英將パーシバル

山下將軍の前にて降伏狀に署名せり」と

時は維昭和十七年二月十五日。

妻泣けり、

我泣けり、

叫ぶ萬歳の聲もおろおろなりき。

妻は走りて、病みて寐ぬる子を起し

「シンガポール落ちぬ」と告げにき

シンガポールの戰に

死せる英靈よ

傷ける勇士よ。

よくぞ　戰ひて勝ちし。

卿等の血は萬代に生きむ

アジヤ十億の胸はあきぬ。

百年の讎は討てり。

明日よりぞ、大アジヤの陸に海に

嘉ばしき新建設の月は明くる。

あゝわが任は重きかな

1. 『新時代』1942年3月号 [↑](#footnote-ref-1)